



よ坊さんだより

▼25▲

歯周病の種類は大きく分けると歯肉炎と歯周炎になります。歯肉炎とは歯周病

菌が歯肉（歯ぐき）だけに感染した状態で、歯周病の初期段階です。まず歯周病

菌（プラーク中に含まれる細菌）の付着によって歯肉が赤く腫れて炎症を起こしたり、歯磨きで出血したり

歯周病③

歯肉炎から歯周炎に

は溶かされていけませんので、まだ歯槽骨（歯を支える骨）

は溶かされていけませんので、まだ歯槽骨（歯を支える骨）

ておくと、歯槽骨が侵される歯周炎へと進行してしまいますので、歯肉炎の段階で早めに治療を行うことがとても大切です。

歯周炎の症状は歯肉が腫れたり、出血するだけでなく、歯周病菌の出す毒素が

原因で歯槽骨が溶かされるために歯がグラグラしたり、歯が長くなり出っ歯になり、歯が長くなり出っ歯に見えるようになります。歯周炎が進行すると、いわゆる歯周ポケット（歯と歯ぐきの溝）が深くなり、プラークがよりたまりやすくなり、普通の歯磨きではプラークを取り除くことが不可能となります。このため歯科医院でのプラークや歯石を除去するなどの処置が必要となります。処置をしないでさらに歯周病が悪化してしまうと最悪の場合には歯が抜けてしまいますので注意が必要です！

は溶かされていけませんので、まだ歯槽骨（歯を支える骨）

原因で歯槽骨が溶かされるために歯がグラグラしたり、歯が長くなり出っ歯になり、歯が長くなり出っ歯に見えるようになります。歯周炎が進行すると、いわゆる歯周ポケット（歯と歯ぐきの溝）が深くなり、プラークがよりたまりやすくなり、普通の歯磨きではプラークを取り除くことが不可能となります。このため歯科医院でのプラークや歯石を除去するなどの処置が必要となります。処置をしないでさらに歯周病が悪化してしまうと最悪の場合には歯が抜けてしまいますので注意が必要です！

原因で歯槽骨が溶かされるために歯がグラグラしたり、歯が長くなり出っ歯になり、歯が長くなり出っ歯に見えるようになります。歯周炎が進行すると、いわゆる歯周ポケット（歯と歯ぐきの溝）が深くなり、プラークがよりたまりやすくなり、普通の歯磨きではプラークを取り除くことが不可能となります。このため歯科医院でのプラークや歯石を除去するなどの処置が必要となります。処置をしないでさらに歯周病が悪化してしまうと最悪の場合には歯が抜けてしまいますので注意が必要です！

（京都府歯科医師会 広報室員 久米博文）

*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。